

滝議第0828002号

令和2年8月28日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

産業建設常任委員会

委員長 稲荷場 裕

産業建設常任委員会所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を次のとおり終了したので会議規則第77条に基づき報告します。

記

- 1 調査事件  
大釜駅、巢子駅の駐車場の利便性向上について
- 2 調査結果  
別紙のとおり

## 1 調査事項

大釜駅、巢子駅の駐車場の利便性向上について

## 2 調査理由及びその目的

大釜駅、巢子駅については、当初、駅の利用者の利便性を高めることを目的として、パーク&ライドの駐車場を設置しており、現在はその目的を十分に果たしていると捉えている。

一方、常に満車状態にあるなど課題も見受けられるようになっている。パーク&ライドの駐車場を含めた課題とその要因及び解消方法等を調査し、駅の更なる利便性の向上に向けた今後の在り方を研究するものである。

## 3 産業建設常任委員会委員

委員長 稲荷場 裕

副委員長 日向 裕子

委員 奥津 一俊、佐藤 澄子、小田島 清美、長内 信平

## 4 調査内容

### (1) 調査経過（関連資料は別添）

開催日等	内容
令和元年10月15日（火）	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 所管事務調査項目の決定のため、様々な視点から本市の課題を抽出するための議論を行った。
令和元年10月29日（火）	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 調査の理由及びその目的を確認し、所管事務調査項目を決定した。
令和元年11月7日（木）	【委員会内協議】 ＜協議の概要＞ 調査のスケジュールを協議し、所管事務調査項目設定シートを作成した。 また、担当課の事務調査の必要性を確認し、次回委員会で都市政策課より内容聴取を行うことを決定した。

開催日等	内容
令和元年11月19日（火）	<p>【担当課の事務調査（資料1）】</p> <p>&lt;調査の目的&gt;</p> <p>大釜駅、巣子駅の駐車場の現状と課題を確認することを目的に、担当課に対し説明聴取を行った。</p> <p>&lt;調査の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大釜駅、巣子駅の駐車場の利用形態</li> <li>・パーク&amp;ライドの駐車場の定義と成功条件</li> <li>・各駐車場の満車対策</li> <li>・沿線駅駐車場の状況</li> <li>・今後の対策とスケジュール</li> </ul>
令和元年11月28日（木）	<p>【委員会内協議】</p> <p>&lt;協議の概要&gt;</p> <p>担当課の事務調査の内容を基に、論点を整理した。</p>
令和元年12月13日（金）	<p>【委員会内協議】</p> <p>&lt;協議の概要&gt;</p> <p>担当課の事務調査結果を踏まえての調査内容及びスケジュールについて協議を行った。</p>
令和2年1月20日（月）	<p>【委員会内協議】</p> <p>&lt;協議の概要&gt;</p> <p>現状や課題についての議論を深め、調査の方向性、必要となる資料の確認を行った。</p>
令和2年3月3日（火）	<p>【委員会内協議】</p> <p>&lt;協議の概要&gt;</p> <p>これまでの議論の内容を踏まえ、さらなる担当課への事務調査の必要性を確認し、次回委員会で都市政策課より内容聴取を行うことを決定した。</p>
令和2年3月26日（木）	<p>【担当課の事務調査（資料2）】</p> <p>&lt;調査の目的&gt;</p> <p>各駅駐車場の利用状況及び有料化を想定した際の予算と課題を確認することを目的に、担当課に対し説明聴取を行った。</p>

開催日等	内容
	<p>&lt; 調査の内容 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大釜駅、巣子駅の利用状況調査結果</li> <li>・ 駅駐車場を有料化した事例</li> </ul>
令和2年5月7日（木）	<p><b>【委員会内協議】</b></p> <p>&lt; 協議の概要 &gt;</p> <p>大釜駅、巣子駅の駐車場を有料化する際の試算案を作成することを決定した。</p>
令和2年7月17日（金）	<p><b>【委員会内協議】</b></p> <p>&lt; 協議の概要 &gt;</p> <p>調査スケジュールの見直しを行った。</p>
令和2年7月28日（火）	<p><b>【委員会内協議】</b></p> <p>&lt; 協議の概要 &gt;</p> <p>大釜駅、巣子駅の駐車場を有料化する際の試算の素案について、詳細の確認を行った。</p>
令和2年8月4日（火）	<p><b>【委員会内協議】</b></p> <p>&lt; 協議の概要 &gt;</p> <p>有料化の試算案の再検討、修正を行った。</p>
令和2年8月12日（水）	<p><b>【担当課の事務調査（資料3）】</b></p> <p>&lt; 調査の内容 &gt;</p> <p>委員会で作成した大釜駅、巣子駅駐車場の有料化案を提示し、担当課との意見交換を行った。</p>
令和2年8月26日（水）	<p><b>【委員会内協議】</b></p> <p>&lt; 協議の概要 &gt;</p> <p>これまでの調査における各委員からの意見等を踏まえ、調査報告内容の協議を行った。</p>
令和2年8月28日（金）	<p><b>【委員会内協議】</b></p> <p>&lt; 協議の概要 &gt;</p> <p>調査報告書の内容について、字句等の整理を行った。</p>

## (2) 特記事項

担当課との意見交換【令和2年8月12日（水）】

### (ア) 大釜駅、巢子駅の駐車場有料化に関する試算（案）について

当委員会では、調査結果により巢子駅の満車解消が喫緊の課題であることは認識していたものの、同一市内の大釜駅駐車場に関しても受益者負担の考え方から、同時に有料化することを想定した提案書を作成した。

有料化の際の工事費や5年、10年先の維持管理費も含めた収支も緻密にシミュレーションを行った。

その他にもIGRやJR東日本との協働活動の推進、滝沢市民と他の市町村住民との料金の差別化や、定期券購入者への料金優遇措置、時間貸しや月極等の料金設定、障がい者への配慮をした料金設定等を提案書に盛り込み、市の歳入増、職員の負担軽減をも図ることができる駐車場維持管理を目指すことが可能であることを提案した。

### (イ) 巢子駅駐車場の有料化案について

巢子駅駐車場は、平成18年の駅開業時に、駅の利用促進、パーク&ライドの普及のために整備され、これまでに複数回の駐車区画の増設が行われてはいるものの、満車になることが多く、広く市内外の人々に利用されていると捉えることができる。

しかしながら、満車の要因の一つと考えられるのが、駅利用目的ではない、パーク&ライドの趣旨に反すると思われる利用者が見受けられることである。

その解消策として、当委員会は「市営駐車場の事業提案書」を提案した。

当委員会と市当局の間で、「駐車スペースの拡大及び有料化が満車解消のための有効な手段」であることについての意見は一致していた。

一方、IGR利用者の減少への懸念、利用者の有料化に対する理解等の課題も多く、近隣駅の状況、先進事例の研究結果等も十分考慮に入れた利用料金、維持管理方法を設定していくことが求められている。

### (ウ) 大釜駅駐車場の有料化案について

大釜駅駐車場は、パーク&ライドの成功条件に概ね合致していることから平成16年に整備され、利用されてきた。

駐車場が駅から離れた場所にあることからか、満車になることはない想定されているが、巢子駅と同様パーク&ライドの趣旨に反すると思われる利用者が見受けられることが課題と捉えている。

駐車場敷地は借地であり、賃料を長期間払い続けていること、且つ前潟地内への新駅開業の計画があることから、大釜駅地内の駐車スペースの拡大とともに当該駐車場の在り方についても検討を考えている、との当局の見解が示された。

## 5 考察

市では、大釜駅及び巢子駅のさらなる利便性の向上を目指し、JR及びIGRを利用したパーク&ライドを推進するため、市営の駐車場を整備した。

両駅ともに駐車場があり、都市部へ行く際にパーク&ライドが活用できることが広く住民に認知されていると考えられることから、現在はその目的を十分に果たしていると考えられている。

一方、両駅駐車場においてパーク&ライドの目的以外の利用と思われる車両が多くある可能性があり、特に巢子駅駐車場においては、慢性的な満車状態の要因の1つと考えられる。

また、自己申告によって支払いが発生する利用料金制度のため、実質的に無料駐車場として利用されていることも確認された。

これら懸案となっている事項を解消または軽減することで、駅のさらなる利便性の向上に寄与できるものと考えた。

市当局への事務調査及び担当課が行った先進事例視察先での実績等により、常時有料化による実質的無料駐車場の解消は、慢性的満車状態の打開にも繋がり利便性が大きく向上するものと推察されたため、有料化することと仮定した試算を行った。

当委員会提案の「市営駐車場の事業提案書」では、駐車スペース増設の計画案の外、時間貸しや月極等による利活用の可能性も考慮し、工事費や5年、10年先の維持管理費も含めた収支について緻密にシミュレーションを行った。

当委員会の試算により現状と将来の収支を比較した結果、一定の初期投資費用は要するものの、歳入増加と共に長期的な維持管理コストの抑制になることが大いに期待される。

料金設定に関しては、駅の近くに住民が利用しやすい商業施設や病院等が少ないため、近隣の状況、住民の料金徴収に対する意向なども十分考慮に入れ、設定していく必要があると考える。さらには駐車場除雪や除草、清掃なども含めた管理運営方法を設定していく必要がある。また、市の財政も鑑みて、少しでも歳入に繋がる施策を考える必要がある。

パーク&ライドに利用目的を限定し両駅の市営の実質的無料駐車場を継続運営する場合、長年に亘り不正利用対策費や維持管理費が掛かり続け、常時満車状態や不正利用解消の課題解決は難しい。今後の維持管理運営に際しては、公平性を考慮し、受益者負担を検討する必要がある。

但し、借地で運営している大釜駅駐車場に関しては、駅から離れている駐車場の現状とシミュレーションで把握した低採算性を考慮し、存続の有無や移転など十分に検討する必要がある。

以上を踏まえて、常時満車状態の打開策としての駐車場の実質的無料状態の解消のためには、早期に駐車場の常時有料化に向けた条例の改正、予算計上を行うことが、両駅のさらなる利便性の向上につながると考察する。